

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

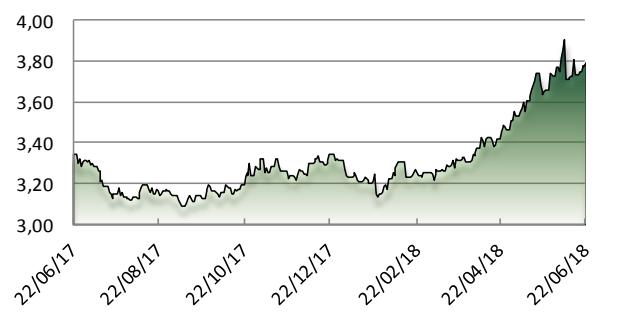
先週末のドルレアルスポット相場は、ホワイトハウスの一部当局者が中国との貿易戦争回避のため、7月6日の対中関税発動前に同国との協議再開を検討しているとの報道を受け、一時3.73台後半までレアル買いが進行したもの、その後はレアル安で推移。ブラジル中銀は2万枚のスワップ入札を実施したものの、趨勢に変化はなく、3.78台後半で取引を終えている。貿易戦争がグローバルにエスカレートしつつある中、トランプ大統領は欧州に対し、米国製品に対する関税や他の貿易障壁を早急に取り除かない場合、域内から輸入する全ての自動車に20%の関税を賦課する考えを示した(自身のツイッターで、「米国と偉大な米企業、労働者に対して欧州が昔から設けている関税や貿易障壁を取り除かない場合、全ての自動車に対して20%の関税をかける。ここで生産をしろ」と投稿)。外部環境がレアルの逆風となっている状況に変化がないことから、中銀は引き続き介入を継続する方針(先週の介入規模が40億ドル程度と、声明文内で宣言した100億ドル相当に満たなかった点には疑問が残る)。本日25日はこれまでのスワップに加え、30億ドルのFXクレジットライン入札を行う予定(スワップについては、マーケット状況に応じて介入規模を調整する見通し)。レアル相場は中銀介入により、6月14日以降、3.67-3.81のレンジ内に収束しているが、自律的なレアル反発の望みはなお薄く、介入が実施された時のみ極めて短期的にレアルが買い戻されるという状況が続いている。大統領選を巡る不確実性が今後一層高まると予想される中、中銀がどのような対応を選択するかに注目が集まる。

マーケットデータ

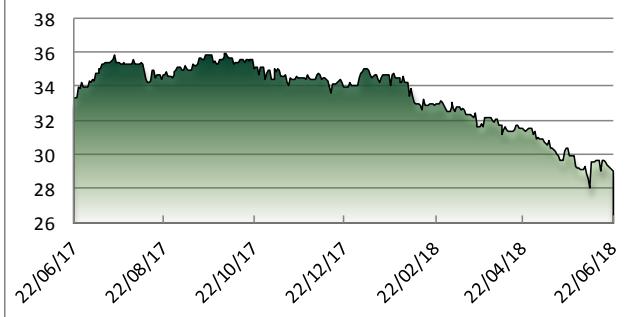
Indicator		Unit	6月21日	6月22日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,7694	3,7856	0,43%	3,77%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,18	29,06	-0,41%	-4,42%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3728	4,4110	0,87%	2,66%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	109,99	109,97	-0,02%	-0,84%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	127,64	128,15	0,40%	-1,89%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		70.075	70.641	0,81%	-14,62%	88.318	69.069
CDS Brazil 5yrs	bps		268,30	265,09	-1,20%	37,52%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		12,06	12,11	0,41%	13,06%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		7,04	7,04	-0,07%	6,83%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3351	2,3389	0,16%	0,38%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		194,40	197,53	1,61%	-4,20%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



＜オンブスマン連絡先: 0800 722 2762＞

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。